自然流行か犯罪か

昭和41年4月、チフス事件の容疑者として逮捕された鈴木充（中央）

チフス菌事件◎核心へ

異常性格の凶行

自供でっち上げ

検察側

被告側

発生場所と被告の関連

人権無視の雑居制

個室化阻む財政のカベ

静かな余生も夢に終る

事件以外にも熱性疾患

中谷鑑定が一つのカギ

潜伏期の解釈でも対立

匿名電話をめぐるナゾ

準個室作ったホームも

二畳分しか出ない補助

静かな余生も夢に終る

老人の側からの不満はくすぶっている